



岩手…アングル

80年代のエース

ひかりが岩手で試運転

若草色とアイボリーホワイトに塗り分けられた7両編成、全長168mのスマートな流線型の車体が冬の岩手をひた走る。

来年秋開業を目指す東北新幹線の雪対策試験電車が本県入りし、一関・北上間48kmで、3月までの試験走行がスタートした。積雪寒冷地用に開発された新型車両と地上設備をチェックするのがねらい。

建設に着手して9年目。試験運転とはいえ待望久しかったひかりの走行に、沿線住民の熱い目ざしが注がれている。

試験電車は、時速30～70km。前後で静かに走っているが、2月には時速210kmに挑戦する。80年代のエースの登場は、県民にまたとないお正月のプレゼントといえそうだ。